

最低制限価格制度（変動型）の算定方法について

1. 変動型による最低制限価格の対象工事について

◎＜対象工事＞は予定価格（税抜）1,000万円以上の建設工事とします。

2. 最低制限価格の算定方法について

最低制限価格の算定方法については、以下の算式とします。

$$\text{【最低制限価格】} = \text{予定価格(税抜き)} \times \text{変動係数[千円未満切り捨て]} \\ + \text{＜消費税及び地方消費税＞}$$

3. 変動係数の決定方法について

変動係数の決定については、下記のとおり0.900～0.891の数値を使って決定します。

A、B及び1～5までのクジを使用し、入札会場において係数を決定します。

（電子入札の場合には、システム内の電子くじを使用して係数を決定します。）

		係数の候補
A	1	0.892
	2	0.894
	3	0.896
	4	0.898
	5	0.900
B	1	0.891
	2	0.893
	3	0.895
	4	0.897
	5	0.899

（例）予定価格（税抜き）13,020,000円の工事で使用する係数がB-4であった場合、 $13,020,000 \text{円} \times 0.897 = 11,678,940 \text{円}$ となり、千円未満を切り捨て、11,678,000円を最低制限価格（税抜き）とします。